



feed the future

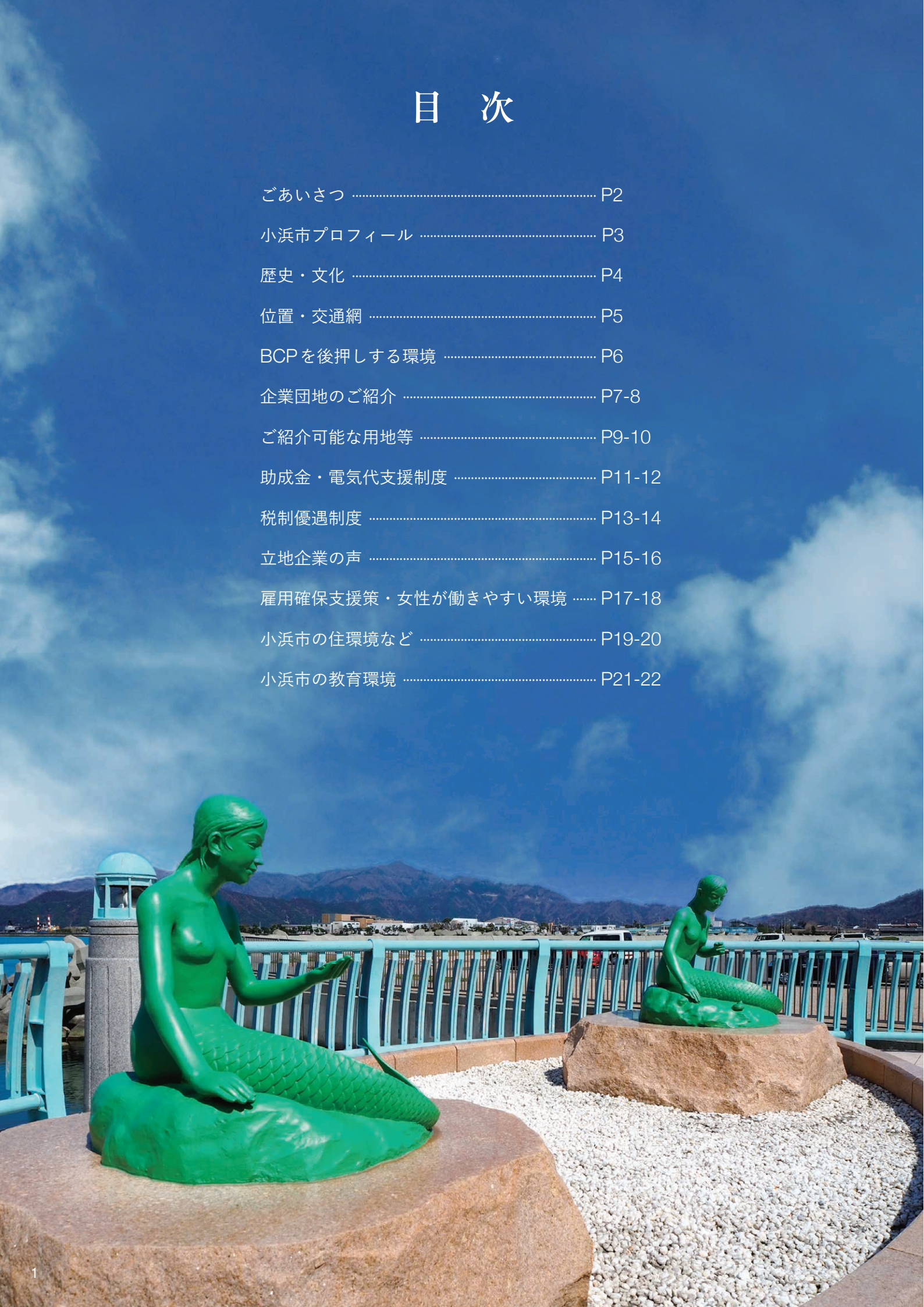
小浜から世界へ



福井県小浜市企業立地ガイド

目次

ごあいさつ	P2
小浜市プロフィール	P3
歴史・文化	P4
位置・交通網	P5
BCPを後押しする環境	P6
企業団地のご紹介	P7-8
ご紹介可能な用地等	P9-10
助成金・電気代支援制度	P11-12
税制優遇制度	P13-14
立地企業の声	P15-16
雇用確保支援策・女性が働きやすい環境	P17-18
小浜市の住環境など	P19-20
小浜市の教育環境	P21-22



ごあいさつ

本市は、若狭湾に臨む美しいリアス海岸と豊かな山海の自然に抱かれ、古代より朝廷に海幸を献上する「御食国」として栄えてきた、歴史と食文化が息づくまちです。

舞鶴若狭自動車道や国道27号が京阪神と日本海側を結ぶ広域ネットワークとして機能しており、地域間経済の拡大や災害時の代替ルートとしても機能しています。さらに、北陸新幹線延伸（小浜・京都ルート）の実現により、首都圏・関西圏とのアクセスは一段と強化されます。

産業面では、国内トップシェアを誇る若狭塗箸産業や水産加工業などといった基盤産業をさらに発展させるとともに、今後は本市の強みを活かした産業の創出や先端的な技術を持つ企業の皆様の進出につなげてまいります。

また、本市では令和8年4月に企業振興助成金を大幅に拡充（最大4億円）したことに加え、大規模な企業用地の確保に向けた県営産業団地の整備を進めており、令和10年度の方譲開始を目指しています。

澄んだ海と緑豊かな山川に囲まれた居住環境は、従業員の健康と定着率を高め、企業の持続的発展を支えます。本市は、歴史が育んだ「食」のブランドと未来を拓くインフラ整備を両輪に、企業の皆様と共に新たな産業の礎を築いてまいります。

皆様の小浜への進出を、全力でお支えする体制を整えてお待ち申し上げます。

小浜市長

杉本 和範

次世代につなげる御食国の食の基盤の強化
「御食国」の根本である農林水産業の振興と小浜らしい学校給食の展開

御食国の歴史・食文化を活かした
滞在価値の向上

御食国の文化・暮らしを味わい楽しむ来訪地となるための小浜西組エリアの面的な開発

心身の健康づくりと豊かな暮らしの推進

地域の特色を活かしたスポーツまちづくりの推進

御食国の将来を担う多様な人材の育成

地域の課題を自ら探究し、未来を創造する力を育む教育の推進

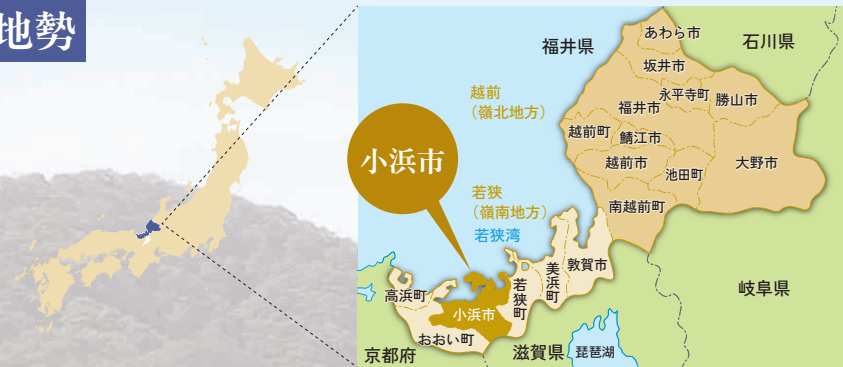
御食国若狭おばま
ブランドの確立と共感の形成

戦略的な情報発信



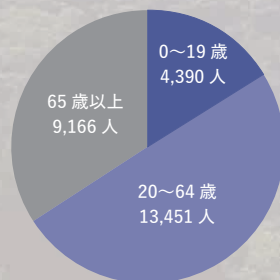
01 小浜市のプロフィール

地勢



福井県の南西部に位置し、北は国定公園の指定を受けた若狭湾に面し、南は東西に走る京都北部一帯に連なる山岳で、一部は滋賀県と境を接しています。

人口



27,007 人

「2026.3.31 時点小浜市住民基本台帳」

労働力人口

小浜市：14,535 人

隣接地域：35,360 人
(おおい町・若狭町・滋賀県高島市)

隣接地域を含めると **49,895 人**

出典：令和 2 年国勢調査

産業

◎主要産業 水産業・水産加工・食品製造業・観光業・製造業

製造品出荷額順位：1 位 電子・デバイス 約 149 億円
2 位 箸製造業など 約 41 億円
3 位 食料品 約 32 億円

出典：令和 3 年度経済センサス

◎伝統産業 若狭塗・若狭塗箸・若狭めのう細工・若狭和紙



若狭塗
あのシーボルトも所有。



若狭塗箸
国内で塗箸のトップシェア。



若狭めのう細工
奈良時代を起源とし、炎のように鮮やかな色彩をもつ貴石細工。



若狭和紙
浅草寺雷門の提灯にも使用。

高校・大学

県立高校 2 校・県立大学 1 校があり、嶺南西部の高校・大学が集積

◎福井県立大学

1 学年定員 80 名
海洋生物資源学部 80 名

◎福井県立若狭高等学校

1 学年定員 260 名
普通科 140 名・文理探究 60 名・
海洋科学 60 名

◎福井県立若狭東高等学校

1 学年定員 162 名
生活創造 28 名・地域創造 28 名・
工業創造 56 名・ビジネス情報 50 名

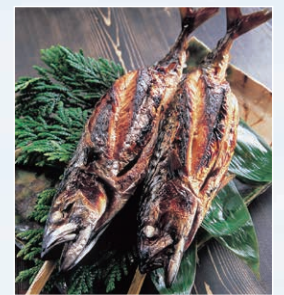
出典：福井県 HP「令和 8 年度 福井県立高等学校入学者選抜に係る募集学科および募集定員」
福井県立大学 HP「令和 8 年度（2026 年度）入学者選抜要項」

02 小浜市の歴史・文化

古代から栄えた 御食国若狭おばま

朝廷に「御贄（みにえ：天皇の御食料）」を納めた国を「御食国（みけつくに）」と呼びます。

若狭おばまは、古く飛鳥・奈良時代から朝廷に食料を恒常的に献上する御食国として、塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきたことで知られています。



浜焼きサバ



若狭ぐじ



若狭かれい



へしこ



宇宙鯖缶

食と文化を運んだ 鯖街道

古代から豊富な食材を運んでいた若狭おばまから京都までは、いくつもの道がありました。

特に 18 世紀後半からは多くの鯖が水揚げされ、たくさん運ばれたことから「鯖街道」と呼ばれるようになりました。

官民が一体となった地域総がかりの取組みが評価され、令和 6 年には、「御食国若狭と鯖街道」が全国初かつ唯一の日本遺産プレミアムの認定を受けることができました。



歴史・情緒溢れるまち

本市には創建を古代にさかのぼる寺社が多数集積し、都である奈良・京都とのつながりを色濃く残しています。



国宝 明通寺



三丁町



萬徳寺 紅葉

03 位置・高速交通網



PR ポイント

1. 広域物流ネットワークの中間地に位置

日本海側と太平洋側を結ぶ広域物流ネットワークの中間に位置しており、北陸・関西・中京エリアを視野にいたれた企業活動が可能です。

2. 北陸新幹線の整備により関東圏企業も注目

令和6年3月の北陸新幹線延伸により、東京と福井・敦賀間が乗り換えなしで結ばれました。

福井県と関東圏の結びつきがより密接となり、本市においても関東圏の企業からの問い合わせをいただいております。

3. 低廉で安定した電力供給

福井県は脱炭素電源である原子力発電所の数が全国最多であり、本市が位置する嶺南地域に発電所が集中して立地しております。

これにより、電気代軽減制度による低廉かつ安定した電力の供給が可能となっております。

今後の注目ポイント

1. 北陸新幹線小浜・京都ルートの整備

◎移動時間の大幅な短縮

	【短縮前】	【短縮後】
京 都・小浜間	2時間9分	→ 19分
新大阪・小浜間	2時間34分	→ 38分
東 京・小浜間	4時間12分	→ 2時間36分

(福井県北陸新幹線建設促進同盟会「新幹線が福井にやってきた！」試算内容より)

◎リダンダンシーを確保

日本経済の大動脈である大阪～東京間を直結する新たな広域軸となり、平時の利便性向上に加え、災害時の代替輸送機能強化にも貢献することが期待されます。

2. 舞鶴若狭自動車道4車線化

(舞鶴東IC～小浜IC一部区間)

北陸・関西・中京圏との広域ネットワーク機能が一層強化され、輸送の安全性や安定性の向上が期待されます。

04 BCPを後押しする環境

地震 ◎小浜市では、これまで震度5以上の記録なし

1990年4月1日～2026年4月1日までの震度データ

(回)

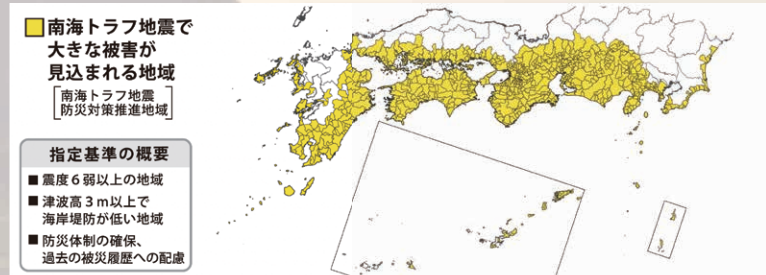
期間	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5	震度6	震度7	合計
1990年代	1	2	1					4
2000年代	36	17	9					62
2010年代	33	12	6					51
2020年代	37	7	1	1				46
合計	107	38	17	1	0	0	0	163

※出典：気象庁ホームページ「震度データベース検索」(2026年4月1日)を基に作成
(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>)

◎今後想定される地震の影響

南海トラフ地震

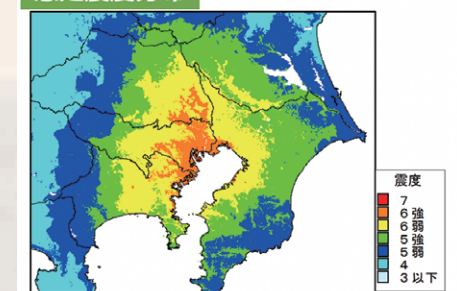
南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。



※出典：気象庁HPリーフレット「南海トラフ地震 — その時の備え —」
(<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>)

首都直下型地震

想定震度分布 都心南部直下地震の場合



※出典：内閣府HP防災情報のページ
首都直下型地震対策検討ワーキンググループ
説明資料
(https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/taisaku_wg_02/index.html)

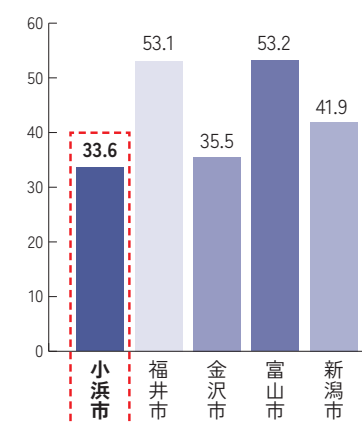
積雪

北陸地方の主要都市と比較しても積雪量が少ないです。

冬期間は道路状況確認カメラやパトロール等により道路状況をリアルタイムで把握し、迅速な除雪を図っております。

※気象庁HP「過去の気象データ検索」を基に作成
https://www.data.jma.go.jp/stats/etm/index.php?prec_no=57&block_no=0579&year=&month=&day=&view=

2016～2025年の10年間の最深積雪量の平均



05 企業団地のご紹介

新・県営産業団地（令和10年度分譲開始予定）



アクセス

- 道路：国道27号まで約1km以内
高速：小浜ICまで約5km
- 鉄道：JR新平野駅まで約1km以内
- 港湾：敦賀港まで約40km
舞鶴港まで約40km

所在地 小浜市平野地係 総面積 約305,000㎡ 実施主体 福井県

整備スケジュール



竜前企業団地



アクセス

- 道路：国道27号まで約1km
高速：小浜ICまで約3km
- 鉄道：JR東小浜駅まで約1.5km
- 港湾：敦賀港まで約40km
舞鶴港まで約40km

所在地 小浜市宮の前地係

総面積 53,312㎡

分譲可能面積 約3,620㎡

電力 普通：200/100V [引込可]
高圧：6,600V [引込可 (要協議)]
特別高圧：33,000V [引込可 (要協議)]

用水 上水道：使用可
用地状況 都市計画区域 (都市計画法)

立地企業

(株) 松尾・(有) サッシサービス工業・(株) 幸池商店・
(株) パン・ソフト・コミュニケーション・(株) アサヒ興洋・宇野酸素 (株)

実施主体 小浜市

分譲方法 売却

分譲価格 14,400円/㎡

排水 自社処理後、公共下水道

建築基準 建ぺい率：60%、容積率：200%

06 ご紹介可能な用地等

◎用地

番号	遊休地等名	分譲面積	敷地の現状	売却・賃貸の希望	希望価格
①	甲ヶ崎地係	11,886㎡	更地 (造成地)	売却・ 賃貸どちらも可	売却:150,000,000円 (一括)(応相談) 賃貸:500,000円/月(応相談)
②	羽賀地係	2,530㎡	更地 (造成地)	売却	15,000円/㎡ 37,950,000円(一括)
③	飯盛地係	4,383㎡	果樹園	売却	売却:28,000,000円 (一括)(応相談)
④	深野地係	2,642㎡	更地 (造成地)	賃貸 (売却は応相談)	売却:応相談 賃貸:応相談
⑤	堅海・泊地係	12,370㎡	更地 (未造成地)	売却	20,000,000円(応相談)
⑥	加斗地係	約 116,000㎡	農地 (未造成地)	売却・ 賃貸どちらも可	売却:応相談 賃貸:応相談

◎コワーキングスペース

番号	物件名	所在地	詳細
⑦	大師湯	小浜浅間 14-1	https://www.taishiyu.com/ 
⑧	GOSHOEN	北塩屋 17-4-1	https://goshoen1815.com/ 



⑦ 大師湯

【コワーキングスペース利用の場合】

営業時間: 10:00 ~ 17:00
 定休日: 土・日・祝日
 (予約営業・HPより要予約)
 使用できるもの: 電子レンジ、ホワイトボード、
 冷蔵庫、Wi-Fi、電源
 有料サービス: プロジェクター



⑧ GOSHOEN

【シェアスペース利用の場合】

席数: みんなのスペース(蔵2F) 24席
 みんなの図書館 8席
 電源・Wi-Fi: 完備 プリンター: 複合機あり
 利用時間: 10:00 ~ 17:00
 ミーティング利用: 5人以上要予約
 料金: 個人利用 無料
 貸切 1時間 1,500円 / 1グループ
 1日 5,000円 / 1グループ



07 助成金・電気代支援制度

小浜市の支援制度①：企業の新規投資を支援

小浜市 企業振興助成金

対象経費：①用地取得・造成経費
②建物等事業所・建設経費
③機械装置等償却資産・取得経費

指定要件			助成内容			
対象業種	投下固定資産額	新規雇用者数	その他要件	補助率	1回あたり限度額	
					新設	増設・移設
製造業 情報サービス業	30億円以上	10人以上	—	20%	4億円	2億円
	10億円以上	5人以上			2億円	1億円
	5億円以上				1億円	0.5億円
	5千万円以上		(製造業のみ) 敷地面積 1,500㎡以上 または建築床面積 500㎡以上		0.5億円	0.25億円
物流関連産業	10億円以上	5人以上	敷地面積 10,000㎡以上 または建築床面積 3,000㎡以上	20%	1億円	0.5億円
	3億円以上	3人以上	敷地面積 5,000㎡以上または 建築床面積 1,500㎡以上		0.3億円	0.15億円
先端的農商工 連携施設 (植物工場・ 陸上養殖)	10億円以上	5人以上	—	25%	1億円	0.5億円
	3億円以上				0.5億円	0.25億円
	5千万円以上	3人以上	敷地面積 1,500㎡以上または 建築床面積 500㎡以上		0.3億円	0.15億円
試験研究所 本社機能	10億円以上	5人以上	—		1億円	0.5億円
	3億以上				0.5億円	0.25億円
宿泊業	10億円以上	10人以上	—		1億円	0.5億円
	5億円以上	5人以上			0.5億円	0.25億円
地域経済牽引事業	市長が定めるもの				1億円	

【オプションメニュー（上乗せ加算）】

メニュー	補助率	限度額
新規雇用者 (大卒以上) 加算	10万円/人	300万円 (限度人数30人・1社/1回)
JR小浜線通勤加算	1/2 (上限5千円/月)	180万円 (限度人数30人・1社/1年)
奨学生採用支援	年間最大5万円/人 (企業が行う奨学金返還支援額と同額を助成)	25万円/人 (1社/5年)

※助成金を受けるためには、更に詳細な条件を満たす必要があります。
詳細な情報については、右の二次元コードからご確認をお願いします。



▲市助成金



▲県補助金

市助成金と福井県の補助金の併用が可能です。
福井県の補助金は右の二次元コードからご確認をお願いします。

各種支援制度の申請については、事前相談が必須となります。
申請にあたっては、下記までご連絡をお願いします。
小浜市経済産業部商工振興課 TEL：0770-53-9705 email：syokou@city.obama.lg.jp

小浜市の支援制度②：小浜市への視察費用を支援

視察支援 事業補助金

市内の産業団地の初回視察費用を支援
対象経費：①交通費（公共交通機関運賃または自動車の高速料金・ガソリン代）
②宿泊費（県外からの来訪で1泊・2日を要する場合に限る）
③レンタカー費用

補助対象経費	補助率	上限額
交通費 宿泊費 レンタカー費用	1/2 以内	10万円

小浜市の支援制度③：空き工場等を活用する企業を支援

空き工場等活用支援 事業補助金

対象経費：①空き工場等およびその用地の取得に要する経費
②空き工場等を活用するための改修等に要する経費
③構築物、機械、装置等の償却資産の取得に要する経費

指定要件				助成内容			
対象業種	投下 固定資産	延べ 床面積	新規 雇用者数	種別	全雇用者数	上限額	補助率
・製造業 ・先端的農商工連携施設 ・情報サービス業 ・試験研究所	2,000万円 以上	500㎡ 以上	5人 以上	A	39人以内	1,500万円	1/2 以内
				B	40人～79人	2,000万円	
				C	80人以上	3,000万円	

※助成金を受けるためには、更に詳細な条件を満たす必要があります。
詳細な情報については、小浜市商工振興課までお問い合わせください。

国の支援制度：電気代コストを8年間・40%軽減

原子力発電施設等周辺 地域企業立地支援事業 (通称 F 補助金)

原子力発電所の周辺地域（小浜市を含む）で、
雇用を生む企業に対して、企業立地後の一定期間、
半期毎に支払った電気料金の実績等に基づき支援を行う制度です。

業 種：製造業および本市が支援制度を整備している事業
電力契約：新規立地または増設に伴う電力契約の新設契約または増加契約をしていること
雇 用：常用雇用者で雇用保険の一般被保険者が3人以上増加すること
補 助 率：概ね40%
交付期間：概ね8年間交付

※申請に際しては、小浜市からの推薦が必要となります

F 補助金に関する詳しい内容や手続きについては、下記にお問い合わせください。

《お問い合わせ先》（一財）電源地域振興センター
TEL：03-6372-7307 e-mail：ritti-shinsa@dengen.or.jp
福井県エネルギー環境部エネルギー課
TEL：0776-20-0229 e-mail：energy@pref.fukui.lg.jp

09 立地企業の声



AGC 若狭化学株式会社



【設 立】1998年4月

【資 本 金】9000万円

【事業内容】

医薬・農薬の原体中間体、並びに機能化学品等の製品の開発及び受託製造（ファインケミカルズ事業）

01 小浜市を立地先として選定された理由

1998年に前身となる工場を引き継いで小浜市に当社を設立しました。勤勉で粘り強い気質の人材に恵まれている地域であり、日本海に面して自然災害が少ない地理的要因がAGCグループ内の他の工場にない魅力でした。

02 実際に立地して感じるメリット

エネルギーコストが安定している点、関西圏や中京圏に近い立地であり、原材料調達や製品出荷に関する物流アクセスが比較的良好な点が、製造業に適した環境だと感じています。

03 今後の展望や期待

当社の医薬・農薬関連製品は、小浜市を含む嶺南地域から世界各国へ供給されています。今後も地域に根差しながら人材育成と技術力の向上を進め、事業拡大を通じて社会に貢献していきたいと考えています。



進工業株式会社 小浜工場



【設 立】1964年7月

【資 本 金】1億円

【事業内容】

薄膜抵抗器製造および販売。
“NASAの基準に適合する部品”として掲載（NASA ILPM・EstablishedCOTS パーツリストに正式掲載）。

01 小浜市を立地先として選定された理由

弊社創業の地で現在も本社所在地の京都市は、古くから鯖街道で小浜と結ばれており、関係性が深く地理的に至便な事。また当時小浜市様から誘致頂き、現在の地に1977年に工場を建設して来年で50周年になります。

02 実際に立地して感じるメリット

市水、井水の水資源が豊富である等、工場稼働のインフラが整っている事。小浜市様には工場拡張の際等、普段より大変親身にご相談にのって頂ける事。また地元採用の方は労働意欲が高く、定着率が高いと感じております。

03 今後の展望や期待

弊社には京都市に本社と事業所、新潟県糸魚川市に工場がございます。北陸新幹線小浜ルートが開通した暁には、この3拠点が新幹線で短時間で結ばれる事から、弊社として機動性と人的交流が活発になる事を期待しております。



ニチコンワカサ株式会社



【設 立】1968年10月

【資 本 金】8400万円

【事業内容】

家庭用蓄電システム、トライブリッド蓄電システム®、各種電源（スイッチング電源、ACアダプター他）などの製造

01 小浜市を立地先として選定された理由

生活環境として、気候も穏やかで風土も良く住みやすく、家族で住むのに適しています。福井県民の人柄も、真面目で勤勉な人が多く、製造業に適しています。また北陸地域ではあるものの比較的降雪量が少なく、影響は少ないです。

02 実際に立地して感じるメリット

日本全体としてはちょうど真ん中に位置し、日本全国へ展開するのに適しています。関西圏や名古屋圏にも近くて利便性が高いです。北陸新幹線で更に利便性も良くなります。また北陸地域としては雪も比較的少なく、全国的にみて電気料金が安いです。

03 今後の展望や期待

舞鶴若狭自動車道が身近なものとなり利便性が増しています。舞鶴港や敦賀港も近く交通インフラとして非常に良い環境となっていて、更に北陸新幹線の小浜駅が今後計画されており非常に未来は明るいです。



株式会社ツバキベジムーブ



【設 立】2024年7月

（小浜工場：2024年7月）

【資 本 金】1億円

【事業内容】

自社植物工場における農作物栽培生産および販売事業、植物工場建設、運営に関するコンサルタント事業

01 小浜市を立地先として選定された理由

株式会社椿本チエインの本社がある大阪からのアクセスが優れているだけでなく、福井県特有の穏やかで勤勉な県民性が、「和を以て貴しとなす」を創業の精神としているつばきグループの企業文化と合致したことが進出の決め手となりました。

02 実際に立地して感じるメリット

原子力発電立地エリアとしてF補助金を活用できる点に加え、福井県の植物工場補助金制度が利用可能でした。また、小浜市は建設候補地の選定など誘致に関する対応が迅速かつ積極的であったため、円滑に事業が開始できました。都市圏に適度に近く、海産物輸送によって培われた物流網が整っている点も利点です。

03 今後の地域企業や関係機関との連携

嶺南エリアの植物工場と連携し、共同配送による物流効率化やコスト削減を検討していきたいと考えています。また、地域の特産品とコラボした商品開発や、地元教育機関との共同研究にも取り組んでいきます。

10 雇用確保支援策

中学生から大学生までをカバーし、企業理解・企業探究を促進

令和7年度事業

中学生

高校生

大学生

・ふるさと企業探究
サポート支援事業

・企業との対話集会
・サマー求人説明会
・OBAMAジョブフェス
・OBAMAジョブツアー

・ふるさとジョブフェア
inふくい嶺南

雇用対策協議会

地域ぐるみで若者の地元就職の促進を図ることを目的に、行政、教育機関、商工団体等で構成する協議会を令和2年に設立。

令和7年度事業内容

①OBAMAジョブフェス

学生ではなく企業が高校を訪問

距離が近いからうまれる対話

次第にひき込まれる学生たち



②OBAMAジョブツアー

高校生が地元企業を訪問し、さまざまな業種で職場見学を行う。



③ふるさと企業探究サポート支援事業

中学生が実施している探究活動の中で、地元企業の魅力発信など企業に関する探究活動に対して支援。企業カードの作成や企業の魅力発信に取り組む。



◀ ALL OBAMA PROJECT (AOPRO)

11 女性が働きやすい環境

福井県は女性の有業率が高く、共働き率も高い。いったいなぜ？

生産年齢人口女性有業率（15～64歳）

年	福井県	全国平均	全国順位
2022	77.7%	74.1%	1位
2017	75.4%	67.0%	1位
2012	71.2%	63.1%	1位

〈2012年・2017年・2022年就業基本構造調査〉

ANSWER ①：子育てを祖父母がサポート
3世代同居率 11.5%（全国2位）
（令和2年国勢調査）

共働き率

年	福井県	全国	全国順位
2020	61.2%	51.6%	1位
2015	58.6%	47.6%	1位
2010	56.8%	45.4%	1位

〈2010年・2015年・2020年国勢調査〉

ANSWER ②：家庭時間を確保しやすい
通勤・通学時間 59分/日（全国5位）
（令和3年社会生活基本調査）

小浜市内の企業の取り組み状況

福井県女性登用アワード2025受賞

小浜海産物
株式会社



業種・事業内容

「食品産業を通じて社会に貢献する」を経営理念の元、水産物の仕入れから加工・販売まで一貫して手がける総合食品会社です。1948年に小浜市で創業し、以来地元では「丸海」の名で親しまれております。

女性が働きやすい職場づくり

女性が能力を発揮し、安心して働ける環境づくりを推進しています。柔軟な働き方や相談しやすい職場風土を整え、男女が共に活躍できる企業として、未来を担う世代の成長を支える取り組みを進めています。

女性が活躍していると感じる場面

女性が活躍していると感じるのは、現場や事務部門での細やかな気配りや丁寧な対応を生かし、組織の安定運営に貢献している場面です。家庭と仕事を両立しつつ、自分らしく前向きに働く姿は、組織全体に良い影響を与えています。

福井県女性登用アワード2025受賞

株式会社
直組



業種・事業内容

建設業：当社は、1923年（大正12年）の創業以来、人と自然に優しい環境づくりを理念に官公庁・民間を問わず100有余年の実績で顧客の信頼と満足が得られる建設物を造り提供しております。

女性が働きやすい職場づくり

女性用更衣室・トイレ改修や個室・男女別空間の提供、作業服の変更など女性に配慮した環境整備を行っております。また、女性のライフイベントに合わせ、産休・育休制度の積極的な活用を推進し、座談会、歓迎会の開催など、コミュニケーションがとりやすい職場づくりに努めています。

女性が活躍していると感じる場面

社内の全業種に女性が従事しており、今までに無かった女性目線を取り入れた事業運営を行うことができました。近隣業者からも女性社員の評価は高く、今後も手本となる社員の育成・職場づくりの推進を行っていきます。

女性のチャレンジに FOCUS



地域おこし協力隊
可児 美帆さん

大阪府出身。
京都の芸大で工業デザインを学ぶ。
京都市内の工房で門扉や表札など建物の外構関連のデザインを手がけていた。
2026年度小浜市の地域おこし協力隊に任命。
地元の伝統工芸・若狭塗職人を目指す。

小浜市の印象

海と山に囲まれた豊かな自然が美しく、街も静かで落ち着いており、ものづくりに集中するにはとても良い環境だと感じています。また生活圏がコンパクトにまとまっており、日々の生活もしやすいです。

伝統工芸職人を志した理由

漆を塗り重ねて研ぎ出すことで生まれる独自の美しさに惹かれ、「この素晴らしい伝統を自らも学び、未来に繋げる仕事をしたい」と思い移住をし、若狭塗を学ぶことに決めました。

今後チャレンジしていきたいこと

若狭塗の伝統技法を習得することはもちろん、現代のライフスタイルや空間に調和する新しい商品開発に挑戦したいです。若狭塗の魅力をより広い世代に伝えていけたらと考えています。

12 安心・安全の住環境

「住みよさランキング2026」で全国17位・中部で5位にランクイン！

東洋経済がまとめる「住みよさランキング2026」にて安心度が高く評価され、全国17位・中部で5位にランクインしました。

安心度は、老年人口当たり介護保険施設定員数、20～49歳女性人口当たり0～19歳人口、子ども医療費助成、人口当たり病院・一般診療所病床数・刑法犯認知件数・交通事故件数を基に算出されており、この項目において小浜市は中部エリアで1位を獲得しました。

◆「住みよさランキング2026」(東洋経済) 全国順位トップ20

総合順位	市区名(都道府県名)	総合評価 偏差値	安心度 順位	利便度 順位	快適度 順位	富裕度 順位	(参考) 前年 総合順位
1	入吉市 (熊本)	55.00	4	12	379	746	3
2	文京区 (東京)	54.39	634	7	46	23	2
3	長久手市 (愛知)	54.16	498	25	50	42	4
4	福井市 (福井)	54.12	258	31	206	86	1
5	下松市 (山口)	54.00	282	73	23	121	8
6	四万十市 (高知)	53.92	58	20	164	726	5
7	倉吉市 (鳥取)	53.82	23	41	388	578	9
8	大阪市 (大阪)	53.66	783	9	6	22	11
9	渋谷区 (東京)	53.65	804	1	133	16	26
10	魚津市 (富山)	53.61	126	37	419	180	14
11	武蔵野市 (東京)	53.45	810	5	148	5	7
12	釜石市 (岩手)	53.37	44	100	491	256	45
13	越前市 (福井)	53.32	302	186	52	89	27
14	大竹市 (広島)	53.32	110	157	203	223	20
15	砺波市 (富山)	53.26	228	35	354	174	30
16	鎌倉市 (神奈川)	53.20	508	134	190	11	21
17	小浜市 (福井)	53.12	35	146	353	472	41
18	豊島区 (東京)	53.05	801	2	58	34	24
19	白山市 (石川)	53.00	294	222	12	198	29
20	野々市市 (石川)	52.99	510	8	86	356	18

出典：東洋経済新報社2026年6月5日プレスリリース
東洋経済「住みよさランキング2026」の結果
(<https://corp.toyokeizai.net/news/assets/20260615.pdf>)

◆「住みよさランキング2026」中部編

総合順位	自治体名(都道府県)	総合評価 偏差値	安心度 順位	利便度 順位	快適度 順位	富裕度 順位
1	長久手市(愛知県)	55.33	96位	8位	4位	9位
2	福井市(福井県)	54.94	40	6	28	33
3	野々市市(石川県)	54.01	113	1	12	58
4	金沢市(石川県)	53.91	140	5	18	13
5	小浜市(福井県)	53.63	1	32	80	141
6	敦賀市(福井県)	53.47	32	28	34	49
7	砺波市(富山県)	53.27	36	11	61	73
8	魚津市(富山県)	53.27	18	13	90	72
9	みよし市(愛知県)	53.10	99	112	83	1
10	白山市(石川県)	52.84	45	69	1	70

出典：東洋経済新報社2026年6月22日
「住みよさランキング2026」中部編トップ100
(<https://toyokeizai.net/articles/-/948543?page=2>)

まとめると…

- ① 治安がよい
- ② 市民の医療・介護体制が整っている
- ③ 出産・子育て環境が整っている

医療・介護施設

小浜藩医として活躍した杉田玄白の名を冠する杉田玄白記念公立小浜病院では、若狭地域の基幹病院として、地域の2次、3次医療を担うなど、幅広い医療を提供しています。



杉田玄白記念公立小浜病院

施設種類	施設数
病院	2
歯科	9
薬局	11
一般診療所	13
種別	
内科系診療所	10
外科系診療所	1
小児科系診療所	5
産婦人科系診療所	2
皮膚科系診療所	1
眼科系診療所	1
耳鼻咽喉科系診療所	2
介護施設	60
種別	
訪問型介護施設	15
通所型介護施設	12
入所型介護施設	11
居宅介護支援事業所	12
福祉用具事業所	5

出典：
JMAP地域医療情報システム
(<https://jmap.jp/cities/detail/city/18204>)
ウェルネスデータベース
(<https://www.wellness.co.jp/wdb/>)

13 子育て環境・移住支援策について

子どもが健やかにすくすく育つまち おばま

本市では、安心して子どもを産み、子育ての喜びを実感できる地域を実現していくため、子育てに関わる親・家庭・地域・行政などが協力して子育てを支援する環境づくりを進めています。

【子育て支援制度】

小浜ならではの保育の柱

運動遊び・自然遊びを日々の保育に取り入れています。



市内の保育園児がのぼる近くの山の頂上の景色と園児作成のベンチ。

待機児童はゼロ

市内の保育施設等には、待機児童がおらず、就労等で入園を希望する保護者に対し、受け入れ体制を整えています。

保育料の無償化・軽減措置を実施

3歳以上児および第2子以降の保育料は無償化しており、子育て家庭の経済的負担を軽減しています。

支援拠点事業の充実

子育て中の親子が安心して過ごせる遊び場であり、子育て相談や親同士の交流もできる場所が市内に5カ所あります。



子育て支援センターの様子

病児・病後児保育

子どもの体調不良時でも専門施設での預かりに対応しています。近隣市町の施設も広域利用できます。

キッズ・ベビーシッターサービス

「ふく育さん」

多様な働き方の保護者のニーズに対応したキッズ・ベビーシッターによるサポートを提供しています。

放課後児童クラブ(学童保育)の充実

小学生の放課後の居場所を確保し、保護者が安心して働き続けられる環境を整えています。

「赤ちゃんの駅」を設置

授乳やおむつ替えができるスペースを市内施設に設置し、乳幼児連れでも外出しやすいまちづくりを推進しています。

キッズプレイパーク「なないろ」

「おばまっ子の五感を育む場」
「人と人との交流の場」
「保護者も安らげる場」
として2024年5月にオープン



天候に左右されない「子どもの遊び場」。思わぬぞきとなる丸い窓が特徴です。



子どもたちがおもいっきり走れる開放的な空間。

U・Iターンされる方への移住支援制度

東京圏から小浜市への移住で

単身者**60万円** 2人以上の世帯**100万円**を支給します

※東京圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県

県外から小浜市への移住で

単身者最大**15万円** 世帯最大**20万円**

子育て世帯最大**50万円**を支給します

【お問い合わせ】小浜市 移住定住交流課

TEL：0770-64-6073 Mail：iju@city.obama.lg.jp



▲要件などの
詳細はこちら



▲要件などの
詳細はこちら

14 小浜市の教育環境

ふるさとの自然・歴史・文化・食に誇りを持ち「探究のまち小浜」を創る人づくり

「子どもが主役の教育」を通じて、一人ひとりが自分の生き方を主体的に考え、よりよく生きる道を選び取る力を育成するとともに、他者との協働のなかでウェルビーイングの高い地域社会を創造していきます。



ハワイの小学生とのオンラインでの交流のようす



ハワイの教員との交流のようす

子どもたちが教育目標をつくっています

小浜市学校教育方針

1. 自らの人生や未知の状況を切り拓く挑戦する力を育む
2. ふるさとを愛し、誇りに思う心を育む
3. ふるさと小浜の食への想いと食育先進地としての誇りを育む
4. 心身ともに活力ある生活習慣を育む
5. いじめ・不登校対策の充実を図る
6. 生き生きと学び、働くことのできる学校環境をつくる



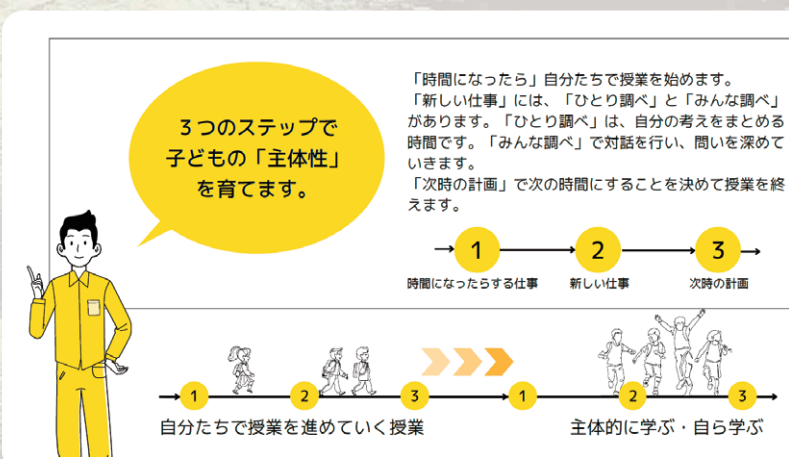
「探究のまち小浜」全国・海外の学校から視察にくるほど注目されています

市内各校における特色や特徴

小浜市の小中学校は、ふるさとの歴史や「食」の文化を教育の核に据えつつ、最新のICT活用や対話学習を組み合わせた「伝統」と「革新」のバランスがとれた教育が特徴です。

1. 伝統の「3S学習」

小浜市では、数十年前から「3S学習」という『子どもが主役』となる独自の授業理論を大切にしています。



大自然と歴史ある文化の中で豊かな感性と主体性を育てています

2. 地域をフィールドにした「ふるさと探究」

小浜市は、豊かな自然と歴史文化を教材として活用しています。

(1) 五感を使った体験

川遊び安全教室や海辺での塩作りなど、低学年のうちから地域に飛び出し、五感で感じる体験を重視しています。

(2) 社会課題への挑戦

「鯖の缶詰を宇宙へ飛ばす」プロジェクトに象徴されるように、地元の伝統の味を生かした商品開発やふるさと小浜の未来について、小中学生が大人と一緒に考えます。中学校では、1～3年生が混ざった「縦割り班」で探究に取り組んでおり、異学年で協力しながら課題を解決する力を養っています。

高校生が宇宙食鯖缶を開発した



校区内の食材を調理して、食べる「食育」先進地。おいしいだけじゃない、感謝の気持ち、地域の愛を育みます

3. 全国をリードする御食国の食育

(1) 「地場産学校給食」

地場産食材を極力用いた給食を実施し、生産者との交流を通じて地域との絆を深めています。

(2) 食に関する体験学習

① ジュニアキッチン（小学生高学年）

地場産食材を用いた伝統料理の調理を通じて、地域の食文化への理解を深めます。

② 「命」をさばく体験（中学生）

マダイを丸ごとさばく実習を通じ、自らの手で調理して食することで、命の尊さと食への感謝の心を育みます。

(3) 独自の献立「マダイ給食」

年1回、マダイ一匹を丸ごと提供。美しい魚の食べ方と正しい箸使いを学びつつ、郷土の味への愛着と誇りを育みます。



最先端のDX、探究、英語教育を実践しています

4. 時代を先駆ける小浜の教育

未来を支える人材を育成するため、「DX推進」「グローバル対応」「対話学習」など、先進的な教育改革を推進しています。

(1) 大学等との強力な連携体制

横浜国立大学、福井大学連合教職大学院との連携協定を締結し、最先端の教育理論と技術を現場に導入しています。

(2) 生きた英語力を養う「グローバル教育」

近隣の青池学園（美浜町）との連携協定に基づき、留学生を市内の小学校へ積極的に派遣しています。



生徒だけじゃない、最先端の授業づくりのために先生も学び続けています

5. 先生も学び続けるまち、小浜市

子どもたちが「自ら考え、行動する力」を育めるよう、小浜市では先生自身も学び続けています。新しい教育方法や世界の教育に触れながら、より良い授業づくりを進めています。

(1) 対話を大切にしたい授業づくり

子どもたちが自分で考え、友達の考えを聞きながら学びを深める対話教育（p4c）を先生自身も研修で実践し、考えを伝え合い、お互いを尊重する温かな学びの環境をつくっています。

(2) 世界とつながる教育

ハワイとの教員交流や海外研修などを通して、世界の教育に学び、子どもたちの可能性を広げる授業づくりに生かしています。

(3) 全国から注目される教育実践

先生たちの日々の実践は全国の教育研究会でも発表され、多くの教育関係者が小浜市の教育を学びに訪れています。





企業立地に関するお問い合わせ

小浜市経済産業部商工振興課 〒917-8585 福井県小浜市大手町 6-3

TEL 0770-53-9705 (ダイヤルイン) **FAX 0770-52-1401**

E-mail syoukou@city.obama.lg.jp HP <https://www1.city.obama.fukui.jp/>

小浜市への進出をご検討の際には、お気軽にご連絡ください

